



議会だより あもぎ

3月議会
令和5年4月25日
発行

人口・世帯数

人口	14,118人	
	男性	女性
世帯数	6,937人	7,181人
	7,577世帯	

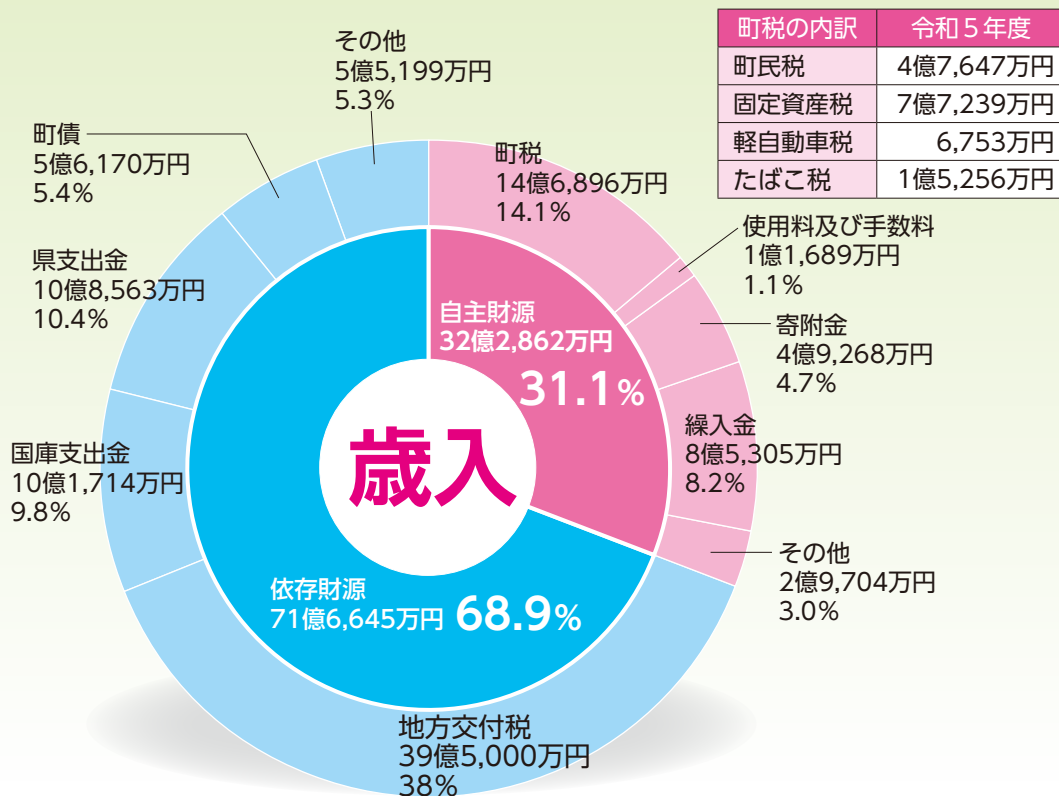
題字 池田 彌太さん(当時高山小6年)
表紙絵 二木 心菜さん(当時波野小1年)

令和5年3月31日現在

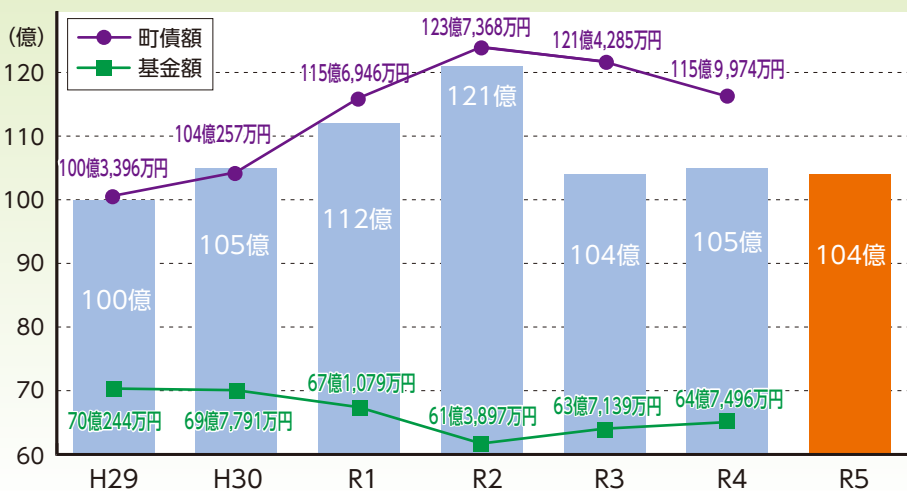
令和5年度 一般会計当初予算

一般会計(歳入)

103億9,506万4千円



一般会計当初予算・町債・基金の推移 (単位:円)



町債(借金)と基金(貯金)の状況



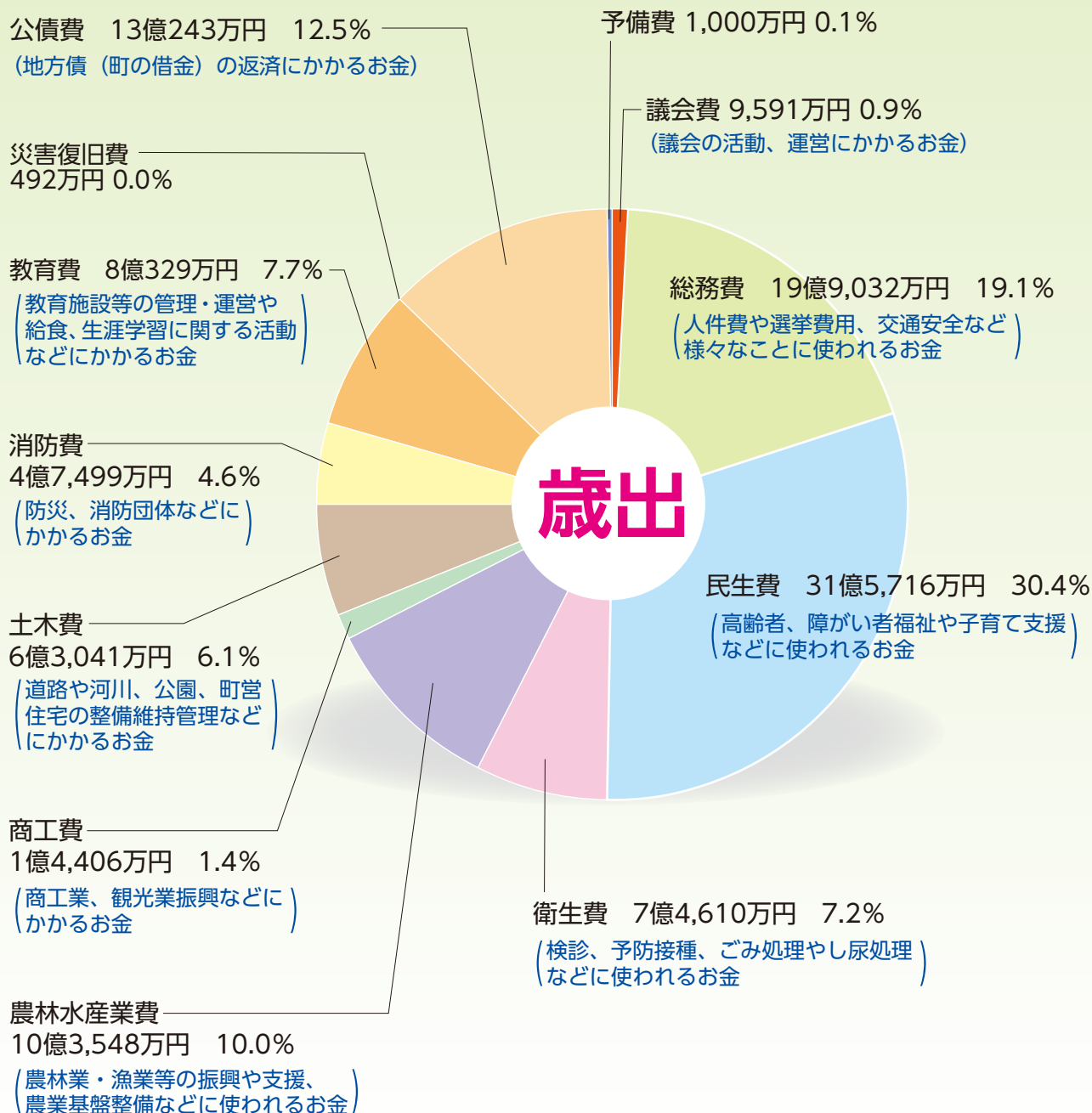
効率的 予算執行を



一般会計(歳出)

103億9,506万4千円

目的別



予算審査報告書

本委員会に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので会議規則第77条の規定により報告します。

事件の番号	件名	審査の結果
議案第17号	令和5年度肝付町一般会計予算	原案の通り可決すべきものと決定
議案第18号	令和5年度肝付町特別会計国民健康保険事業勘定予算	原案の通り可決すべきものと決定
議案第19号	令和5年度肝付町特別会計後期高齢者医療費事業勘定予算	原案の通り可決すべきものと決定
議案第20号	令和5年度肝付町特別会計介護保険事業費保険事業勘定予算	原案の通り可決すべきものと決定
議案第21号	令和5年度肝付町特別会計介護保険事業費介護サービス事業勘定予算	原案の通り可決すべきものと決定
議案第22号	令和5年度肝付町水道事業会計予算	原案の通り可決すべきものと決定
議案第23号	令和5年度肝付町立病院事業会計予算	原案の通り可決すべきものと決定

【 審査の経過及び内容 】

令和5年3月定例会初日において、本委員会に付託された令和5年度肝付町一般会計及び特別会計予算4件、企業会計予算2件について、審査の結果を次のとおり報告します。

審査日時 令和5年3月6日（月）、7日（火）、8日（水）、9日（木）
 審査場所 肝付町議会 本会議場
 出席委員 6日～9日：13名

※各会計の予算額は、次のとおり

令和5年度予算

会計名	予算額 (単位：千円)		比較		
	令和5年度	令和4年度	増減額	伸び率 (%)	
一般会計	10,395,064	10,513,839	▲ 118,775	0.99	
特別会計	国民健康保険事業	2,092,512	2,177,488	▲ 84,976	0.96
	後期高齢者医療費	291,261	289,757	1,504	1.01
	介護保険事業費 保険事業	2,770,866	2,809,314	▲ 38,448	0.99
	介護保険事業費 介護サービス事業	12,511	11,301	1,210	1.11
水道事業	522,622	534,548	▲ 11,926	0.98	
町立病院事業	761,760	798,477	▲ 36,717	0.95	
計	16,846,596	17,134,724	▲ 288,128	0.98	

【審査の着眼点として】

- (1) 予算は第2次肝付町総合振興計画に合致したものであるか。
- (2) 行政評価がされた予算となっているか。
- (3) 決算及び監査報告の指摘事項等が予算に反映されているか。

一般会計予算の特徴としては、義務的経費が50億9千414万5千円（前年度比▲0.9%）となっており、予算の約50%を占めている。このことは、住民の福祉、行政サービス、要望等へ応えるための財源に影響が大きいいため、一層の行財政改革を進め、計画的な削減に努められたい。

【 審査意見 】

- 予算編成にあたっては、将来にわたるコストを勘案して編成していただくように要望する。
- 予算執行にあたっては、一層の行政評価をしながら執行すべきである。
- 当初予算の執行については、早期執行・早期効果の実現となるように取り組むべきである。
- 委託業務については、「本当に委託が必要か。」「職員でできないか。」等を検討し、判断すべきである。
- 各課の職員がプロ意識を持ち、業務に取り組んでいただきたい。
- 予算説明資料について、新規事業や事業に変更があった場合の説明が不足している。記載の仕方の再考を望む。
- 水道事業については、予算が逼迫しているようだが、有効水量率の向上や健全経営に向けての改善等に取り組み、継続的な事業展開ができるようにしていくべきである。

以上、令和5年度の予算審査について申し述べてきたが、年々進む少子高齢化、人口減少、それに相反する社会保障費等の増加を鑑みるに、予算は、直接、住民の生活を左右し、その福祉のいかに決するものであることを念頭に置き、将来の本町のあるべき姿も考慮しつつ、各種事業への効率的な取り組みや一層の行財政改革の推進を要望し、本委員会の審査報告とする。

予算委員会で出された意見

問 価格高騰により給食費の値上げが心配されるが、今後値上げされるのでは。

答 4月からの値上げは、物資の値上げ幅がどのくらいになるかまだわからないので当面は据え置き、今後状況を見て値上げを検討していく。

問 廃プラスチック類適正処理、葉用缶、ビニール、プラスチック波板等がある。収集は。

答 農業用であればできる。サツマイモ農家支援事業補助180万だが病気に強い品種みちしずくの普及を進めべき。

問 基腐れ病は、今年度も取り組んでいけるのか。また、当初予算に計上されているのか。

答 今年度も取り組んでいきます。予算についても計上してあります。

問 専門職の活用はどのような業務に携わっているのか。

答 公営住宅や学校施設等設計積算や見積もりの精査等に関わっている。

問 映像作品撮影事業助成金はどのような物事に支出するのか。

答 町のPR映像等を作成する際の助成金です。

問 後期高齢者に対する人間ドック受診時の補助金が計上されているが中身について問う。

答 国保の補助と同額である。因みに1日ドック2万5千円10名分、2日ドック3万円5名分、がんドック5万円1名分、脳ドック2万5千円1名分である。

問 各地区に自主防災組織が設置されている。地域防災力を高め、自主的活動を促すため行政の担当者が地域に向き教育する考えはないか。

答 令和5年度から実施する。

問 流鏝馬行事の神馬の飼育は町内で行うべきではないか。

答 現在串良地区で飼育をお願いしている。町内でできればよいが、飼育農家が見つからない状況である。

問 神馬の更新が必要ではないのか。

答 保存会とも協議したうえで対応したい。

問 水道事業の料金体制を協議する時期ではないのか。

答 貴重なご意見ととらえます。事業会計を維持するためにも協議したいと考えます。

肝付町地域商社設立
支援業務(新規事業)

2千800万円

問 令和6年度の商社設立を目指して、商社に関する専門的知識を持つ業者に業務委託するというが、どのような計画か。また、当該商社はふるさと納税の返礼品発送業務を事業収入に充てるとあるが、現在、発送業務をおこなっている観光協会、宇宙協議会から移すということなのか。

答 一般公募をおこない、5月中旬に委託事業者を決める計画で、ふるさと納税の返礼品発送業務は3者で協議を行う予定。

町立病院事業会計
(繰出金)

2億1,100万円

問 この繰出金は、法定内（町立病院が国から交付された金額）であるのか。

答 法定内である。

※主として出された意見です。



ペーパーレス化に

向けた肝付町議会の

取り組み

肝付町議会もペーパーレス化に向けて話し合いを進めて来たが、本格的導入に取り組むこととなった。



パソコン研修

肝付町議会研修

日時：令和五年二月二十四日

講師：鹿児島県町村議会議長会

事務局長 中村 逸朗氏

●研修内容

- 一、地方自治法の一部改正
- 二、住民代表としての議員の役割
(責務)
- 三、一般質問のあり方
 - イ 質問の目的・効果
 - ロ 質問の方法
 - ハ 質問の内容の分類
 - ニ 質問に関する留意事項
- 四、予算・決算審査について



議員研修

第1回 肝付町議会臨時会 (2月1日)

令和4年度 肝付町一般会計補正予算 第9号

515万円を減額



主なもの

物価高騰支援事業や
事業継続支援事業な
どの実績見込による
減額補正

2,036万円減



新型コロナウイルス感染症
や物価高騰による児
童生徒の進学等準備
支援給付金

1,521万円増



第1回 肝付町議会定例会 (3月3日)

令和4年度 肝付町一般会計補正予算 第10号

専決処分

100万円を追加



職員時間外勤務手当
(鳥インフルエンザ防疫業務)



令和4年度 肝付町一般会計補正予算 **第11号**

3億1,324万円減額 総額115億42万円 **可決**

主なもの

電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

2,335万円減

保育所入所児扶助

3,957万円減

肝付町キバレふるさと基金積立金

7,900万円減

三角・多角細部測量・面積測定委託料

2,331万円減

消防団員報酬

2,000万円減

令和4年度 肝付町特別会計国民健康保険事業費事業勘定補正予算 **第3号**

1,968万円を追加し、総額22億8,409万円 **可決**

令和4年度 肝付町特別会計後期高齢者医療費事業勘定補正予算 **第2号**

1,307万円減額し、総額2億7,930万円 **可決**

令和4年度 肝付町特別会計介護保険事業費保険事業勘定補正予算 **第3号**

1億4,686万円を減額し総額28億3,775万円 **可決**

令和4年度 肝付町立病院事業会計補正予算 **第2号**

資本的収入及び支出の予定額

収入を95万円減額し4,560万円

支出を204万円減額し6,117万円 **可決**



※不足額 1,557万円は過年度分損益勘定保留資金で補てん





肝付町議会

Kimotsuki town council



7人が問う


 とみなが よういち
富永 洋一 議員
 P.11
 



- ・農業振興について
- ・予算執行と財政計画


 まつもと けんさく
松元 健作 議員
 P.12
 



- ・学校給食の無償化について


 つねよし ともひこ
恒吉 智彦 議員
 P.13
 



- ・過去の質問のその後「廃校後を利用して6次産業化やICT関連企業の誘致等を進めてみてはどうか」という質問に対して
- ・施政方針（P.11）より


 やなぎ かずお
柳 一夫 議員
 P.14
 



- ・中山間対策について
- ・国民宿舎コスモピア内之浦に係る現状説明会を傍聴して


 まえはら かずゆき
前原 和幸 議員
 P.15
 

- ・特別支援教育体制の充実


 まえだ みはる
前田 美春 議員
 P.16
 

- ・安心・安全なまちづくり推進について


 ますやま じろう
益山 二郎 議員
 P.17
 

- ・小中学校の学校図書館について
- ・特別支援学級と通級指導の現状を問う

※二次元コードから各議員の一般質問の動画を閲覧できます。

二次元コードを読み取るには…

- ①スマートフォンのカメラを起動
 - ②読み取りたい二次元コードをカメラの画面に映す
 - ③画面に出てくる「読み取りに成功」の文章をタップ
- ※専用のアプリから読み取る方法もあります。

☆YouTube『肝付町議会』第1回定例会 中日①～③でご視聴できます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めること。

掲載内容については、それぞれの質問者がまとめ、議会広報委員会が編集したものです。

農産物の認証制度の基準作りを

町長…各品目検討する

富永洋一 議員



問 施政方針で、水田利活用が述べられているが、その活用は。

答 本年度は、加工用米や野菜等の交付単価を上げ米販売の多様化等に対応する。

※ 早期の農産物の認証制度とネーミング化によるブランド化を！

問 平成30年に12月議会、今後の米作りの在り方について質問してきたが答弁とし

て、「おいしい米作り研究会」で取り組むとされたが、その現状と結果は。

答 11名の会員で、圃場の土壌分析、食味会でのタンパク値、アミロース値等を計測することで意識向上をはかりおいしさの目標数

値の80を超えている。

問 平成25年9月議会で、農業振興について農産物のネーミング化と認証制度が必要と質問してきたが、認証するには基準を設けるべきと考えるが。

答 認証制度による肝付ブランド化として、各品目検討する。ブランド化していくにはネーミングが必要と考えるが。

肝付町おいしい米づくり研究会 食味分析結果 令和4年度

No.	氏名	品種	評価値	水分	蛋白	アミロース	脂肪酸度
1	A	なつほのか	79	13.8	7.1	17.0	21.0
2	B	なつほのか	79	13.9	7.1	17.0	21.0
3	C	なつほのか	79	13.8	7.1	17.0	21.0
4	D	なつほのか	76	14.3	7.9	18.0	20.0
5	E	なつほのか	80	15.8	7.1	18.6	23.0
6	F	なつほのか	79	12.6	7.0	15.6	19.0
7	G	なつほのか	78	14.5	7.6	17.9	21.0
8	H	なつほのか	80	14.8	7.2	17.8	22.0
9	I	なつほのか	76	14.2	7.5	17.4	22.0
10	J	なつほのか	81	14.3	7.5	18.1	19.0
11	K	なつほのか	79	14.2	7.3	17.6	21.0
平均値			78.7	14.2	7.3	17.5	20.9

【備考】

項目	目標数値	補足
評価値	80以上	高いほどおいしい
水分	14.5～15.6	基準の範囲内で高いほうがおいしい。
蛋白	7.0以下	数値が低いほうが旨味があるといわれる。
アミロース	18.0以下	低いと粘りのあるお米、高ければ粘りのないお米となる。
脂肪酸度	16.0以下	数値が高いほど酸化が進んでいる。

※数値については、水分、蛋白、アミロース、脂肪酸度の総合評価

将来を見据えた財源確保を！

町長…定員管理・事業の見直しを進める

問 令和5年度予算執行にあたり新規事業については十分な検証をすべき。

答 執行にあたっては、その必要性、妥当性、事業の効果等を見極め執行する。

※ 財源確保に向けた財政運営を！

問 通常業務の土日の超過勤務は極力さけるべき。

答 カーボンニュートラルも掲げており心がけていく。

問 第二次総合計画では人件費が現状より減少しているが、定年延長、非正規公務員の勤勉手当等により人件費が増える

のでは。

答 財政計画時、条例整備がなされてなく定年延長は加味していなかった。

問 12月議会で、定年延長と予算の関わりについて質問してきたが、定員管理はいつ見直すのか。

答 今年の5月から6月にかけて見直します。

問 きびしい財政運営の中で、財源の確保は。

答 定員管理、事業の見直しを進めていく。

学校給食費の無償化へ

町長…前向きに検討する

松元健作 議員



※答…町長答弁

答…教育長答弁

問 現在肝付町在住の小中学生は何名おり、一人当たり年間幾らの支払いをしているのか。

問 全国でも学校給食の無償化の動きがあり、鹿児島県では10市町村が無償化、近隣では3町が一部補助を行っている。この状況について肝付町は把握しているのか。

答 現在東串良町、錦江町、南大隅町が一部補助、この4月からは鹿屋市が一部補助を、南大隅町が無償化を行う予定であると聞いている。

も避けられないと思うが、今後値上げを検討されているのか。

答 今年2月1日現在の児童生徒数は、町全体で小学生が676名、中学生が309名、合計985名。一人あたり1年間の給食費は、高山地区小学生、年間4万2900円、中学生4万9500円、内之浦地区小学生、年間4万1800円、中学生4万8400円。

問 これに兄弟がいれば、一家庭の負担がかなり大きい額になる。物価高騰により学校給食への影響

答 学校給食に係る物資価格を増やさざるを得ない状況にあるとの通知を受けている。値上がり幅が

いまだ不透明であるため4月から当分の間は据置、今後状況に応じた値上げを現在検討している。

問 今後益々家庭への圧迫が増大し、未納者が増えると考えますが、現在未納金額はどのくらいあるのか。

答 37万9229円が未納となっている。

問 未納金額の回収はどのようになされているのか。

答 各学校と連携を図りながら、電話による督促と家庭訪問、夜間訪問などの対応をしている。

問 全国的に無償化の必要性が広がって

いる。無償化になることで家庭生活の大きな支えとなり、出生率の増、移住増など様々なプラスが生まれてくる。子育て世代を本町に呼び込むためにも一部補助や無償化を行ってはどうか。

答 物価高騰に対する値上げ分については、町が負担することとしたいと考えている。無償化についても、前向きに検討していく。



地元産和牛を使ったカレー



辺塚だいだいかんぱち

過去の質問「廃校の活用」その後

町長…現在利用希望者と協議中である

恒吉智彦 議員



問 令和3年12月議会で「廃校跡の利活用」について質問した。6次産業や企業誘致、地域プロジェクトマネージャーはどうか。どうなったか。

答 地域プロジェクトマネージャーを昨年3月に採用し、移住や定住の取組を開始した。空き家バンク新規登録昨年4件に対し54件、成約件数昨年8件本年26件、移住相談は14件

から268件に増えている。廃校跡の利活用については川上小を利用したいという方と現在協議中である。

問 利用希望者の方は何をされるのか。

答 無農薬の植物を活用したクラフトシ

ロップの開発
発や、手仕事ワークショップ
業でコミュニケーション
ニティづくりに取り
組むと聞いている。

※ 廃校の活用例は近隣自治体でも数例ある。町としても環境整備等を含め、支援をされ、2例目・3例目へとつながり、地域活性化へと発展する事を期待する。



利用が望まれる川上小跡

施政方針にあつた地域商社とは

町長…地域製品の販売・流通の司令塔

問 施政方針で域外からの外貨獲得に関して

特産品の製造、販売者や町内の観光関連事業者の稼ぐ力の向上を支援する組織体制「地域商社」の構築に取組むとあつたが具体的には。

答 地域商社とは、中小事業者や生産者に代わり商品のブランド化、

それと流通事業を進める事を目的とし、消費者ニーズを的確に把握し、従来以上の収益を上げるための司令塔となる組織である。関係団体の意見を伺いながら、本町に見合った実施計画と運営体制を構築したいと思っている。

問 地域商社の組織形態についてどう考えて

いるのか。

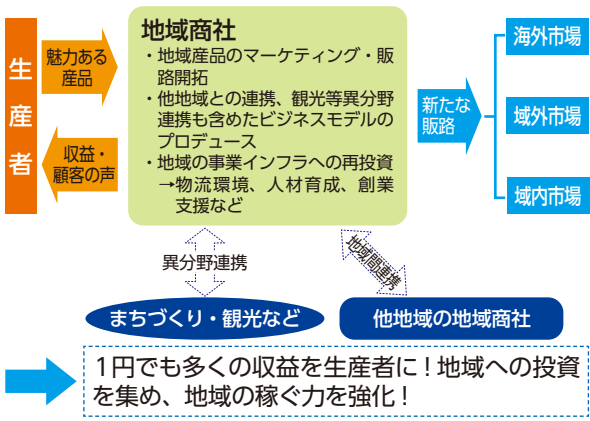
答 形態は行政によるもの、民間企業、第三セクター等色々あるが、それぞれメリット・デメリットがあるようなので、本町が実施する事業に最もふさわしい形態をこれから検討したい。

※ 地方創生において、地域の稼ぐ力を向上し地域経済を活性化する方策の一つとして、地域商社の活躍が期待されている。農水商工連携の下、地域経済の発展、ひいてはふるさと納税が増加し、よりよい住民サービスと福祉の向上に期待する。

地域商社事業とは

資料13-2

- 農産品、工芸品など地域に眠る魅力ある産品やサービスの販路を、生産者に代わって新たに開拓し、1円でも高く生産者から産品を買い取るよう、市場から従来以上の収益を引き出す役割を担う。
- 魅力ある地域の商材に即してマーケティング・販路開拓を行い、その収益と市場の生の声を生産者にフィードバックする。その後段階を追って、他地域との連携、観光等異分野との連携なども進め、域外から投資を呼び込めるようなビジネスモデルをプロデュース。地域の事業インフラ整備にも貢献する。



中山間対策、どう進めるか

町長…活動支援を継続的に進めていく

柳 一夫 議員



問 持続可能な地域づくりのため、中山間対策をどう進めるか。

答 国の政策事業等がある。これらの活動支援を継続的に進めてゆく。

問 鳥獣被害対策、電柵は30㍓50a程の設置は、ソーラー発電機も補助対象となるか。

答 受益地の長さに応じ交付される、導入可能であると考え

る。

問 事業要件に満たない地域や農家への支援対策は。

答 現状を鑑みて体制整備については今後検討してまいりたい。

問 事業支払制度、水田地と畑地を比較すると差が大きい、

是正はできないものか。

答 国は集落協定広域化加算等を創設、拡充している。これらを検討して

いかなければならない地域における課題解決に向けた

取り組みを支援してまいりたい。

問 広範囲の山間部、機械リース等の助成は考えられないか。

答 組織の運営状況も考慮しながら対応については今後協議してまいりたい。



中山間荒地状況

銭湯でも早く造ればと感じたが

町長…一体的に進めていきたいと考える

◎コスモピア現状説明会を傍聴して

問 国も一緒にと各省庁へ要望書提出されたその内容は。

答 4つの柱を基本とした10項目、観測所におけるロケット打ち上げの促進、観測所の民間利用の促進、観測所を活用した次世代人材育成、要望の実現に向けた協議への国の参画。

問 この中で地域の温泉施設等の要望は。

答 コスモピア内之浦の利活用についても支援を要望書の中に盛り込んである。

問 打ち上げが多くなれば人口増につながるの思いか。

答 まずは関係人口を増やし将来の定住の人口増へつなげた

問 住民のことを考えると小さい銭湯でもいいのか。

答 事業者との協議をすすめながら議会へも説明しながら前へ進めたい。

問 住民の思いを聞く

と、銭湯を早く造ればと感じたが町長は。

答 事業者の意見も考慮しながら一体的に進めていきたい。

問 信じて待つ町民へのメッセージを。

答 先延ばしということではなくて、手続は踏んでまいりたいと思う。



閉館中のコスモピア内之浦

特別支援教育体制の充実を望む

教育長…さらに、体制の整備に努める

前原和幸 議員



問 文部科学省は、知的発達に遅れはないものの、学習面または行動面で著しい困難をしめす児童生徒の割合が増加傾向にあると発表した。本町ではどのような対応を行っているのか。

答 特別な支援を必要とする児童生徒に対して、食事や排泄、移動など学校における日常生活の介助や、学習活動上のサポート

トを行う特別支援教育支援員の数を増加するとともに、昨年四月に高山小学校に通級指導教室を設置するなど、体制の整備に努めている。

問 通級指導教室とはどのような教室なのか。

答 通常の学級に在籍しながら、週に1〜2時間程度、困り感に合わせて個別の指導や支援を受けるもので、義務教育学校の前期課程を含む他の小学校からの受け入れも可能となっている。

問 通級指導教室の受け入れ予定数が、増加するとの事だが、

教育長の見解は。

答 昨年四月の立ち上げから運営に関わっている担当教員の不断の努力と保護者の理解が進んでいくことの表れだと認識している。学習面や行動面で著しい困難を表す児童生徒が増加傾向にあることをふまえて、引き続き体制の整備に努める。

医療的ケア児の支援体制は

教育長…支援のための準備を行っていく



通級指導教室（高山小学校）



通級指導教室（高山小学校）

問 日常的に人工呼吸による呼吸管理や、たんの吸引などの医療行為を必要とする児童生徒が、町内の小・中・義務教育学校に在籍しているか。

答 現在、医療的ケア児は在籍していないが、令和六年度入

学予定者の中に日常的に人工呼吸器による呼吸管理が必要な幼児がいる。

問 学校で受け入れる際、どのような支援が必要なのか。

答 看護師の配置と、施設などの環境整備が必要となる。

問 また、入学までに必要な準備は。

答 スムーズな受け入れのために、町の保健師に看護師の配置方法について相談するとともに、当該医療的ケア児が通う保育・幼児教育施設での様子を見学させる範囲での準備を進めている。

避難所への誘導灯、防犯灯設置は

町長…施設整備を検討していきたい

前田美春 議員



問 安心、安全なまちづくりについて、振興会への防犯灯整備に対する補助状況は。

答 新設、修繕に対応した全体事業費の3分の1を補助している。

問 令和2年度に、波野小中学校近くの水田地帯に、子どもたちが安心して通学できるようにLED灯が設置されている。他の学校付近にも設置すべきでは。

答 安心、安全な地域社会づくりを推進するためにも必要な箇所については、引き続き検討していく。

問 町は災害時の避難所を各所指定しているが、避難所への誘導灯、街路灯、防犯灯の無い所が、見受けられる。やぶさめ館への道路沿いは、振興会に属さない為、防犯灯の設置の無い所が多く見受けられる。

LED照明灯を緊急時の避難道路に設置すれば防犯未然防止対策として防犯抑制にも繋がり、地域住民の安心、安全な生活の確保、子どもたちの安全確保が図

られると考える。調査し、設置の考えは。

答 指定避難所付近の街路灯整備については避難所の一定範囲において不足している箇所は、災害時の停電等を考慮し、再生可能エネルギーを活用した施設整備を検討していきたいと考えている。



温泉ドーム近辺

問 街路灯の設置数は、事業者の撤退などで数が減少している。

特に、前田地区の学校付近、楠集中高付近は支柱しか残っていない所が、数箇所見受けられる。この支柱を活用したLED灯の設置は、考えられないか、新規設置になると予算的に厳しいとすれば支障の無い街路灯の移設は考えられないか。

答 商工会と協議させていきたい。

問 街路灯事業は、平成2年設置されてから約32年経過し、経年劣化も激しく台風等の被害により、

楠集中高付近の街路灯の整備は

町長…商工会と協議を進める

ここ数年修理代の費用が膨らんでいると聞く。更新や修理が必要であり町としても改善点を精査し、新たな補助を考えると

時期になっていると考える。町の考えは。

答 この件についても商工会と十分協議しながら、対応はしていきたい。



楠集中高前通り

学校図書館の現状と課題

教育長：整備状況に応じ、予算配分したい

益山二郎 議員



問 各学校図書館の蔵書数は国が示す標準を超えているのか。
答 国見小など4校のみとなっている。
※1 学校図書標準

問 各学校の図書購入費はいくらか。
答 高山小が27万円、高山中が28万円弱です。
問 廃棄や更新は基準を満たしているか。
答 町でも基準を設けているが、廃棄・更新が進んでいない学校もあるようですので、促していきたい。
※2 学校図書廃棄基準

問 国は受け入れ後、10年経過後の本は廃棄すると基準に記してあるが、本町の現状は。
答 町の基準では購入からの保存年数や年数による廃棄等は記載していない。
問 記載がないから、図書館に昭和や平成初期の本が相当数ある。この本も数えた上での標準超えなのか。
答 単純に冊数のみで算出しています。



買い替え（更新）が必要では

問 その他にも民間から寄附・寄贈された本が数千冊程度ある。ありがたい事であるが、これも冊数にはいつていると思う。町の宝である子どもたちが読み学ぶ図書は、町が予算措置すべきではないのか。
答 全学校が標準に対する蔵書の割合が100%になるよう、各学校の整備状況に応じた予算配分になるよう教育総務課長に指示した。この取組により廃棄や更新も進むものと考ええる。

問 国は地方交付税で図書購入費を配分したと報道された。答の取組が進展するよう強く要請する。自治体により生徒一人あたりの図書購入費に大きな差があるのではないか。4000円を超える町もあるが、本町の現状は。
答 小学校で1165円、中学校で2802円です。

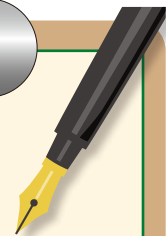
問 コロナ禍の中、図書の貸出しに変化はなかったのか。
答 減少したとの報告は受けていない。
問 高山郷土誌や内之浦町誌が一部配置されていない。町の歴史を学ぶ時や先生方が教材とする時もある。各学校に配布すべきである。
答 各学校の状況を確認し、対応したい。
他の質問
・通級指導の現状と今後について。



空きスペースが多い本棚

所管事務調査報告書

総務・文教委員会



調査を実施した事件

1. 公用車の運用等について
2. 消防行政について

調査を実施した日

令和5年1月24日

委員会調査報告

総務課長をはじめ、管財、消防の担当者が委員会に出席し、「公用車の運用等について」と「消防行政について」を説明した後、委員から質問や意見が出された。

《質問と答弁》 ※抜粋

○公用車の運用等について（質問）

- Q：公用車については、稼働率等を調査して、少しでも台数を減らす方向にすべきではないか。
- A：デジタル推進課と連携して、デジタルの活用で公用車の管理（稼働率）を行うようにしていきたい。
- Q：車両の管理についての基準を教えてください。
- A：「公用車管理規程」を基としている。
- Q：公務で私有車を使う場合の保険等は、どうなっているか。
- A：個人が入っている保険での対応となる。
- Q：忙しい時期にあわせて、公用車をリース等で準備することがあるか。
- A：これまでにはない。

○公用車の運用等について（意見）

- ・他の市町との比較ではなく、肝付町としてどれだけの公用車が必要であるかが大切である。
- ・車両の点検は、しっかりと行っていただきたい。
- ・公用車の所有台数を減らし、繁忙期には、レンタカーやリースで対応することも検討していただきたい。
- ・課によって使用頻度に差があるように思えるが、その差が埋まる対策は取れないものかと考える。

○消防行政について（質問）

Q：分団を統廃合する考えはないか。

A：分団長会等では、話は出ていない。統廃合については、慎重に議論し、結論を出さなくてはならないと考える。

Q：現場から出される課題等はないか。

A：もちろんある。例えば、岸良分団は、地理的に他の分団との統合が難しい中で、分団を維持するために団員の確保をしなければならない等である。

○消防行政について（意見）

- ・分団員不足は、重大な問題である。
- ・消防分団のPR動画等を使い、また、他の様々な手段で団員確保を行っていただきたい。

まとめ

○公用車の運用等について

公用車についての調査は、これまでも実施してきているが、平成29年度には148台であった公用車が、現在（令和5年1月）は136台になっていることは評価したい。

今回の調査において、稼働率について、デジタルを活用して把握していく取り組みの話があったが、ぜひ、その取り組みを実施し、偏りのない公用車の運用に繋げ、最終的には、行政団体の規模に見合った公用車の保有台数にしていただきたい。

○消防行政について

担当者の説明で、「畑地かんがい用水の消防用水としての利用個所を増やす旨」や「町が所有する給水車が、いざというときには、消火活動に使える旨を各分団にも改めて周知すること」等の前向きな対策を聞くことができたことは、何よりであるが、やはり、町の消防行政、消防分団の抱える最大の課題は、「分団員不足」である。町の担当課においては、出初式や消火訓練等の動画を撮影してPR動画をユーチューブ等にあげるなどもされる予定とのことだが、その他にもいろいろな手段を使って、また、知恵を絞って団員の確保に繋げなければならないと考える。

「傍聴者のこえ」

傍聴者の数 延べ人数 11名

臨時会 (2月1日/1名)

3月定例会 (3月3日/3名

3月16日/2名)

3月17日/3名

3月24日/2名)

施政方針についての質問が少ない

財政問題についても各議員はどう思うのか、考えを教えてください

土日勤務の振替休日の実態、超過勤務の削減について職員と意見交換をすべき

質問者、答弁者、要件が明記され理解しやすかった

特別支援教育体制の質問に対し、当局の真正面から取り組む姿に拍手したい

学校給食について未納者0に向けた取り組みをしてほしい。

補助金のあり方、使途について調査すべき



編集後記

新型コロナウイルス感染が県内で最初に確認されてから3年以上が経過した。3月25日時点で、県民の35人に1人が感染、84名の方が亡くなったと新聞に掲載されていた。

マスク着用の緩和に続き、5月8日からは感染症法上の位置づけが5類に変更される。今後共、感染防止対策には細心の注意を払いたいものである。

さて、令和5年度がスタートしました。各振興会の総会をはじめ、コロナ禍で開催できなかった諸行事が、徐々に以前の様に開催されるようになりました。本年度の予算は全体で、対前年比1.7%減となりましたが、ふるさと納税の増加に向けて努力をされる等、自主財源の確保に努め、住民サービスの向上や福祉行政の充実に向けて、議会としても、町民目線に立ってしっかり取り組んで参ります。

今後共、議会に対する町民の皆様、御理解と御協力をお願い申し上げます。

文責 恒吉 智彦